

令和6年度
恵庭市教育委員会点検評価報告書



令和7年12月
恵庭市教育委員会

目 次

点検と評価の概要	1
点検評価の実施方法	2
令和6年度 恵庭市教育委員会点検評価票	
1 教育総務課	
学校部活動の地域移行	3
教職員の働き方改革の推進	3
学力・体力向上の推進	4
2 教育支援課	
「なかよしさわやか DAY 全市交流会」の推進	4
不登校対策	5
3 学校給食センター	
学校給食費の債権管理事業	5
4 社会教育課	
郷土芸能の体験学習の推進	6
理科の体験学習の推進	6
地域学校協働活動の推進・支援	7
5 読書推進課	
恵庭分館カードレス ICT 化事業	7
市立図書館との連携を図った小中学校図書館活動の推進	8
6 郷土資料館	
郷土資料館や遺跡等を活用した学習の推進	8
ふるさと教育支援者育成の推進	9
7 教育施設課	
学校教育施設の整備について①	9
学校教育施設の整備について②	10
地区会館等の整備について	10
令和6年度 恵庭市教育委員会点検評価一覧	11

●点検と評価の概要

1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が改正され、改正後の第26条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（中略）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」（参考1）と新たに規定されました。

2 目的

地教行法第26条の点検及び評価（以下「点検と評価」という。）は、教育委員会が自ら立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより市民に対する説明責任を果たすとともに、効果的で市民に信頼される教育行政を推進することを目的としています。

3 点検と評価の対象

本年度の点検評価においては、令和6年度の教育行政執行方針及び第3次教育推進プログラム重点推進項目に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を実施します。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項（参考2）の規定による学識経験者の知見の活用については、教育委員会の事務の点検と評価の客観性を確保する観点から、教育委員会が行った点検と評価について、教育に関し学識経験を有する3名から意見等を聴取する機会を設けることにしました。

意見提出者（3名；敬称略）

点検評価委員 佐々木 雅 哉（北海道文教大学人間科学部こども発達学科 教授）

同 上 松 田 一 則（恵庭市社会教育委員）

同 上 内 藤 和 代（学識経験者）

※参考条文

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

（参考1）第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

（参考2）2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

●点検評価の実施方法

- 1 本年度の点検評価においては、「令和6年度の教育行政執行方針」及び「第3次教育推進プログラム重点推進項目」に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を行いました。
また、各施策・事業の「教育推進プログラム」における位置づけも確認しながら評価を行いました。
- 2 事業の評価の判断基準
必要性・効率性・有効性・公平性・優先性等の観点から、その達成度を総合的に判断して評価し4段階でランク付けを行いました。

<p>A：想定した以上に達成・想定した以上に順調に進捗。</p> <p>B：想定どおり達成・概ね順調に進捗。</p> <p>C：一定の成果があがっているが、一部については想定どおり達成できなかった。 進捗にやや遅れが見られる。</p> <p>D：想定どおりには達成できなかった。想定したとおりには進捗していない。</p>
--

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

1 継続		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校部活動の地域移行		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<ul style="list-style-type: none"> ●新たな検討組織の立上げ →「部活動の地域移行に関する検討部会」の組織改編を行い、新たに「恵庭市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会」を立上げ、2回の協議会を開催した。 ●学校の現状把握 →市内中学校部活動実態調査(前期・後期)を実施した ●人材バンクの設立 →恵庭市スポーツ協会と連携し、今後の地域連携や地域移行に向けて課題となる地域指導者等の発掘・把握を目的とした人材バンクを設立した。(R6より委託事業として実施) ●部活動指導員の全校配置 →1名増員し、全校配置(5名)とした。 	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
豊かなスポーツライフをめざした活動の推進と支援			
事業(施策)概要・計画(目標)		【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ●今後の方向性の協議・検討 ●地域の現状把握(学校ニーズ、地域資源の発掘・把握など) ●事業費の確保 【今後の取り組み】 ●学校や関係団体(合同部活動・地域クラブ・少年団など)の実態把握を行い、人材バンク事業の活用により地域資源の発掘・把握に努める。また、事業費については、国・全道他市町村の動向や検討組織の意見も参考にしながら、まずは土日の地域展開の在り方について検討を行う。 	
●令和4年12月に国から、中学校の教職員が担ってきた部活動の指導を、地域のクラブや団体などに移行する方針が示され、令和5～7年度までの3年間を「改革推進期間」と位置づけ、「学校部活動の地域移行」を重点的に行うことが示された。 ●まずは休日の部活動から段階的に地域移行を進めることを基本としているが、すぐに地域クラブ活動への移行が困難な場合には、学校部活動の地域連携として、必要に応じて合同部活動の導入や、地域の協力を得て、部活動指導員や外部指導員を配置するなど、地域の実情に応じて段階的な体制整備を行うことが示された。 ●恵庭市の現状を踏まえ、恵庭市における部活動の在り方を検討し、地域移行・合同部活動などの方向性を協議していく必要がある。		外部評価委員の意見	
予算額(千円)	決算額(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場のニーズを捉え、体制を整えつつ検討を進めていることを評価します。今後も整備協議会等を通じ、地域人材の発掘や把握に努め、柔軟で恵庭らしい部活動のスタイルを形作っていただきたいです。 	
1,027	1,027		
自己評価	外部評価		
B	B		

2 継続		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
教職員の働き方改革の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から継続して、令和6年度も全教職員の在校等時間を記録して、実態を把握している。校長会等で市内全体の教職員の在校等時間を共有することで、教職員への意識醸成を図った。 ・学習支援員やスクール・サポート・スタッフの活用。 ・部活動指導員の配置を中学校全校に拡大した。 ・学校閉庁日や部活動休養日の設定を継続して行い、教職員の働き方改革の取組を推進した。 	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
豊かなスポーツライフをめざした活動の推進と支援			
事業(施策)概要・計画(目標)		教職員の在校等時間の記録を継続し、令和4年度から恵庭市HPにて時間外在校等時間の公表を行っている。引き続き実態を分析・周知しながら、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を推進する。また、調査や学校行事の精選などを行いながら、教職員の在校等時間のさらなる縮減を図る。 あわせて、部活動指導員の全校配置を継続し、部活動の質的向上や教職員の負担軽減を図る。	
「恵庭市立学校における働き方改革推進計画(第3期)」に基づき、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を通じて、教育の質の向上や、児童生徒が心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進する。 また、部活動については、「恵庭市立学校における部活動の在り方に関する方針」に基づく取組や部活動指導員の配置を通じて、部活動の質的向上や教職員の負担軽減を図る。		外部評価委員の意見	
予算額(千円)	決算額(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・実情を露わにし公表することは、教職員の意識醸成に加え、市民の関心にも寄与するものと評価します。教職員の働きやすさは、健全な学校運営、ひいては子どもたちの健やかな成長に寄与するものです。今後も継続的な勤務実態の把握に努め、教職員の労働環境の改善に力を入れていただくよう望みます。 	
2,145	1,738		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

3 継続		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学力・体力向上の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和6年度は、学力・体力向上推進会議を3回開催し、学力・体力向上に係る効果的な取組について協議した。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	学力向上の取組として、標準学力検査(NRT)(小2～中3)や英検IBA(中1～中3)、英検ESG(小6)の他、AI型デジタルドリルを導入した。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	また、体力向上の取組として、小学校体育授業支援を8校で66コマ実施、中学校への体育授業支援を1校で3コマ実施した。	
教育推進プログラム(施策の方向)		小学校の水泳授業で、学校プールの統廃合及び老朽化により4校が市内スポーツクラブで授業を実施、残り4校に指導者派遣を行った。	
学力・学習状況の実態把握と学力向上プランの作成・推進		その他、「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施し、結果に基づく分析等を作成、公表した。	
子どもの体力・運動能力の実態把握及びその向上		課題及び今後の取り組み	
事業(施策)概要・計画(目標)		これまで実施してきた事業を引き続き継続するとともに、令和6年度から導入したAI型デジタルドリルを活用し、個人の能力や定着レベルに合わせた取組を進める。	
学力・体力向上推進会議での意見を踏まえ、小中学生の学力・体力向上策を推進する。		特に、これまでの全国学力調査やNRTの結果から明らかとなっている、算数・数学における課題を解決するため、デジタルドリルの活用と併行して教職員への研修や働きかけを強化し、学力の底上げを目指す。	
全国学力・学習状況調査の結果分析や学力テスト(NRT)の実施による現状の把握を基に、各校で作成した学校改善プランにより、児童生徒の学力向上を図る。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析や新体力テストの結果を参考に、各校で作成した体力向上プランによる取組を進める他、総合型地域スポーツクラブと連携した体育授業支援等を活用して、児童生徒の体力向上を図る。		体力向上の取組としては、体育授業支援を継続実施しながら、支援回数に加えて、取組内容等も精査しながら、地域のスポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブとの連携により、子ども達の運動機会の確保を図り、体力向上へ繋げていく。	
外部評価委員の意見		<p>・多くの調査結果をもとに、学力向上に向けてAI型デジタルドリルを導入するなど効果的な活用していることを高く評価します。デジタル推進が学力の向上に寄与しているものと思います。学校改善プラン、体力向上プランは関係機関との連携により、さらに実効的な施策となるよう期待します。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
12,742	12,238		
自己評価	外部評価		
B	A		

4 継続		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		○7月23日実施、児童生徒数44名、教職員・保護者等42名	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	ア グループ協議では児童生徒が多くの意見を出し、活発な意見交換がなされた。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	イ 発表を通して、いじめに対する認識を再確認し、些細なことがいじめにつながることや、いじめの防止についてそれぞれができることを確認し合った。	
教育推進プログラム(施策の方向)		ウ 児童生徒がいじめについて主体的に考える機会となり、交流会で話し合われた内容は各校に持ち帰り、今後のいじめに対する児童会・生徒会の取組に生かせるものとなった。	
子どもの生活やいじめの実態把握と課題の早期解決		エ 意見交流を通して、いじめ撲滅に向けてのリーダーとしての意識を啓発することができた。	
事業(施策)概要・計画(目標)		課題及び今後の取り組み	
事業概要:各学校の児童会・生徒会代表が集い、いじめ問題について情報交換や意見交換を行い、いじめ根絶に向けた取組の充実を図る。		各校においては、いじめの認知件数が増加し、「いじめ見逃しゼロ」に近づいているものの、いじめの背景は様々であり、依然として、いじめ根絶には至っていない。	
事業計画:		今後の取り組みとしては、各学校のいじめの未然防止の充実を図るとともに、いじめの兆候を早期に発見し、恵庭市いじめ防止基本方針に基づく対応を行う。	
①いじめ問題の現状や課題、いじめ防止についての意見交流を推進する。		また、恵庭市いじめ不登校問題等対策協議会との共催による「なかよしさわやかDAY」の実施を継続し、各校のいじめ防止についての取組を全校で共有し、各校のいじめ防止対策の充実を図る。	
②全市交流会を踏まえた各学校によるいじめ防止活動の推進		外部評価委員の意見	
③全市交流会での情報を組織還元し、各学校の取組の充実を図る。		<p>・特色ある意義深い交流であると感じ、評価します。この内容を各校において共有し、児童生徒や教職員が喫緊の課題として受け止めていくことが、いじめの小さな兆候を見逃さないことに繋がることから、ひきつづき充実した施策となるよう望みます。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
103	103		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

5 新規		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
不登校対策		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>○不登校児童生徒数:小学校64名(+3名)、中学校162名(△5名)</p> <p>○教育支援センター:ふれあいルーム、学びの森、ステップルーム(試行開設)の開設、延べ3,258名(1日当たり16.5名)利用</p> <p>①指導員11名配置</p> <p>②北海道文教大学協働連携「学びの森」での特別授業の実施:2回、メンタルフレンド(北海道文教大学学生)33名登録、5回派遣</p> <p>③校内教育支援センターへの人的支援:中学校5校対象、週2日(1日2時間)派遣を行い学校の教員業務の負担を軽減、延べ2,359名(1日当たり13.3名)利用</p> <p>④相談窓口の拡大:SC、SSW、教育支援センター指導員対応</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<p>恵庭市の不登校児童生徒の状況は、増加の段階から高止まりの段階になりつつある。児童生徒の状況に応じた多様な学びの場を用意するとともに、学びや支援にアクセスすることができない児童生徒のために、スクールソーシャルワーカーによる相談や家庭訪問を行っているが、家庭の理解を得られない児童生徒が一定数いる。今後はひきこもりにならないよう福祉、医療、警察との連携を強化した支援策を講じる。</p>	
教育推進プログラム(施策の方向)		外部評価委員の意見	
適応指導教室の推進		<p>・教育支援センターの活動や大学との連携によるメンタルフレンド事業など、サポートネットワークの構築が確実に図られていることを高く評価します。児童生徒の多様な悩みを、子に寄り添いながらほぐしていく働きかけの継続を、今後も望みます。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)			
<p>事業概要:不登校により学びや支援にアクセスできない子どもたちをゼロにするため、教育支援センターの設置を継続及び、校内教育支援センターの人的支援を行い、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を図る。</p> <p>事業計画:①教育支援センターの設置、適正な指導員の確保 ②北海道文教大学との協働連携事業の促進 ③校内教育支援センターへの人的支援 ④スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを全校に配置し、相談体制を強化する</p>			
予算額(千円)	決算額(千円)		
47,000	46,993		
自己評価	外部評価		
B	A		

6 継続		所管課 【 学校給食センター 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校給食費の債権管理事業		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>・現年度徴収では、各学校からの督促、催告は実施し、その他に給食センターで長期未納者に対しての「納付のお願い」、「催告書」を送付、自宅への臨戸などを実施した。</p> <p>・過年度徴収については、債権管理課へ債権を移管し、催告業務を実施。(催告書、電話かけ、臨戸、支払い督促や弁護士からの徴収など)</p> <p>①現年度の収納率 99.33%</p> <p>②過年度の収納率 59.69%</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<p>学校給食費の未納については、現年度では学校の徴収だけではなく給食センターからの「納付のお願い」や催告状を送付、臨戸での納付催促の実施、過年度では債権管理課に徴収業務を移管し司法措置をとるなど徴収の強化を図り、高額未納者の整理が徐々に進んだ。</p> <p>しかし、司法措置をしてもすぐに収納に繋がらないなどの案件や、一定程度の高額未納者の債権が残る状況となり、今後も債権管理課と一層連携して徴収を進める。</p>	
教育推進プログラム(施策の方向)		外部評価委員の意見	
安全安心な学校給食の充実と栄養教諭を中心とした食育の推進		<p>・各セクションが連携をとり、債権管理事業が円滑に進んでいることを評価します。今後も収納率を維持するために、学校給食の意義を伝えつつ納付への理解をはかるとともに、安定的な給食事業の推進に努めていただきたいです。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)			
<p>学校給食費の徴収については、現年度を学校、過年度を(一財)恵庭市学校給食協会で徴収しており、督促状、催告状、臨戸などを行っている。</p> <p>しかし、毎年一定程度の未納があることから、債権管理課の協力を得ながら日々の徴収業務や現年度の未納者に対する催告状の発送など、現年度及び過年度の未納を減らすための管理業務を行う。</p> <p>収納率の目標(過去3か年平均)</p> <p>①現年度 99.40%以上 (R3:99.43% R4:99.47% R5:99.31%)</p> <p>②過年度 64.04%以上 (R3:72.34% R4:62.84% R5:56.94%)</p>			
予算額(千円)	決算額(千円)		
0	0		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

7 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
郷土芸能の体験学習の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>すずらん踊りは小中学校、町内会等へ計29回の派遣があり、大半はイベント出演や運動会で踊るための指導だが、うち1回は踊りだけではなく、保存会の歴史を学習するものもあった。また市内夏祭りにすずらん踊り保存会と出演するイベントを企画し、小中学校に案内を行い、体験学習したことを発表する場とした。</p> <p>恵庭岳太鼓は小学校へ1回の派遣があり、保存会の歴史と技術を併せて学習するものだった。</p> <p>共に夏まつり等での露出が増加していることやチラシ等で広報しているため、子どもの認知度も上がっている。特にすずらん踊りは、盆踊りとして実施している町内会が増えており、子どもが郷土芸能に触れる機会が増えている。また保存会への子どもの加入者が増えている。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)			
ふるさと文化の学びと継承・発展		<p>出演依頼は増加傾向にあるが、今後も市内乳幼児施設や小学校等への周知活動を進め、郷土芸能の普及に取り組む。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)			
「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」等郷土芸能の伝承発展に努め、ふるさとを愛する心を培うために、学校や地域に指導者を派遣し、郷土芸能を紹介するとともに総合的な学習の時間、学校行事等を活用した郷土芸能の体験学習を推進する。		外部評価委員の意見	
予算額(千円)	決算額(千円)		
440	440	<p>・体験的なイベントや地域広報などの地道な普及・周知活動により、郷土芸能への意識が高まっていることを評価します。今後も郷土芸能に触れる機会を増やす工夫をし、幼・小学生などにもその価値を知ってもらい、恵庭の豊かさを広めていただきたいです。</p>	
自己評価	外部評価		
B	B		

8 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
理科の体験学習の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>千歳科学技術大学の学生サークル「理工工房」協力のもと、子どもたちが科学に親しみ、「不思議」を体験できる理科実験事業を実施。令和6年度は小学2～6年生を対象に、①バスボム(入浴剤)づくり②ふしぎな万華鏡づくり③夕焼け色のふしぎを実施し、54名の子どもたちが参加した。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目標	15.心豊かな思いやりをもった子どもの育成	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)			
理数科への興味・関心を高める事業の推進		<p>異学年や大学生など、さまざまな人との交流を図りながら、科学の面白さを体感する事業を目指している。また、一時的な体験で終わらせず、参加した子どもたちが家庭や学校で科学の面白さを伝えられるよう振り返りシートを工夫したり、バスボムなど1日待って使えるものを作成したりするなど、事業後の子どもたちの様子を見据えた企画を検討している。今後も、継続して科学に関心を持つような視点から事業に取り組むたい。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)			
多様な学習や体験を通し、子どもたちの興味関心の幅を広げ、学びを促進することを目的とした「恵庭子ども塾」事業のひとつとして、子どもたちが気軽に参加できる理科の実験・観察事業を行い、理科学習への興味関心を高めることを目指す。		外部評価委員の意見	
予算額(千円)	決算額(千円)		
47	47	<p>・理科のおもしろさをますます浸透させていく施策として、充実させつつ継続されていることを高く評価します。今後も千歳科学技術大学との連携のもと推進いただくとともに、子どもたちと一緒に事業を考える機会をつくってほしいと願います。</p>	
自己評価	外部評価		
A	A		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

9 新規		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
地域学校協働活動の推進・支援		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		市内で唯一、地域学校協働本部(恵小コミスク協力隊)を設置して る恵庭小学校をモデルケースとして、推進員を1名配置。推進員が、学校の必要とする授業支援内容を聞き取り、地域住民と学校をつなぐコーディネートをすることで、コミスクだよりの発行や、キャリア教育支援、九九検定支援等、新たな取り組みの実施につながり、子どもの豊かな学びや地域のネットワークづくりが推進された。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	また、「コミスクかふえ」は先進事例学習や市内実践発表を中心とした内容で4回開催し、135名が参加。講演やグループトークを	
目 標	15.心豊かな思いやりをもった子どもの育成	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		推進員は今後も各校の希望に応じて順次配置を進め、令和7年度は新たに6校に配置。推進員を配置するだけでなく、推進員同士の意見交換の場や研修会の設定など、今後も推進員への支援を通して各校の地域学校協働活動の継続支援に取り組む。また、新たな地域人材の掘り起こしと実践共有等を目的とした「コミスクかふえ」を開催し、市内全体の地域学校協働活動活性化推進に取り組む。	
地域住民の学校運営への参画の推進		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)		・地域学校協働本部の設置など、モデルケースを設けての取組が光り、高く評価します。他の自治体の情報を得ながら「恵庭型」を追求し、地域で子どもを育て見守る理想的なスタイルを期待しています。	
令和3年度に市内全校に設置を完了した学校運営協議会での議論を、地域学校協働活動として実践していくため、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員(以下、「推進員」という。)を各校に配置するとともに、関係者による情報交換や先進事例学習の場として「コミスクかふえ」を開催し、「地域に開かれた学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進・支援する			
予算額(千円)	決算額(千円)		
552	331		
自己評価	外部評価		
A	A		

10 継続		所管課 【 読書推進課 】	
事業名(施策)		自己評価	
恵庭分館カードレスICT化事業 (ICTを活用したサービスの推進)		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		□年度比較(無人開館) < 4~6月 >	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	□月別貸出冊数(無人開館) R4 6,144冊 R5 7,091冊 R6	
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術	4月 2,306冊 10月 2,509冊7,483冊	
教育推進プログラム(施策の方向)		5月 2,458冊 11月 2,177冊< 7~9月 >	
学校や家庭での読書活動の推進		6月 2,719冊 12月 1,975冊R4 6,183冊 R5 7,146冊 R6	
事業(施策)概要・計画(目標)		7月 2,745冊 1月 2,150冊7,463冊	
第1期 市読書活動推進計画		8月 2,421冊 2月 2,202冊<10~12月>	
図書館サービスの充実と適切な環境整備		R4 5,804冊 R5 6,646冊 R6 6,661冊	
◇事業概要		課題及び今後の取り組み	
令和3年度に恵庭分館カードレスICT化事業によりセルフ貸出機や手のひら認証システムを導入した。令和4年4月から無人開館(9時~9時30分,17時~19時)を開始。令和5年1月からは開館時間を22時までの試行を行い、4月から本格導入。令和6年度は本格導入2年目。		開館時間拡大の本格導入により、無人開館における貸出冊数は四半期毎の年度比較において、各期増加となっています。開館時間が浸透したことで利用が増えていると考えられます。今後も開館時間の拡大やセルフ貸出機能の拡充等、図書館を利用しやすい環境を整えサービスの充実となるよう、島松分館、恵み野本館への導入を計画しています。	
予算額(千円)	決算額(千円)	外部評価委員の意見	
1,472	1,472	・ICTを活用し、無人開館を拡充するなど利用者拡大に努めていることを評価します。デジタル社会の利便さ、豊かさ象徴する施策としてアップデートしていくとともに、今後も市民のニーズを把握し、気軽に立ち寄れる図書館サービスの提供を続けてほしいと考えます。	
自己評価	外部評価		
B	B		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

11 継続		所管課 【 読書推進課 】																												
事業名(施策)		自己評価																												
市立図書館との連携を図った小中学校図書館活動の推進		計画の達成状況																												
第5期総合計画での区分		学校司書を全校配置し、児童生徒が本に親しめる学校図書館の環境整備を行っており、蔵書管理はシステムを導入し計画的に行っている。平成19年に市立図書館から学校への貸出と学校間の相互貸借を行うなど配本システムを拡充し、図書の効果的活用を進めています。 <貸出冊数>																												
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立図書館</td> <td>8,374</td> <td>10,028</td> <td>8,872</td> <td>8,913</td> <td>7,933</td> </tr> <tr> <td>学校間</td> <td>3,217</td> <td>2,558</td> <td>2,446</td> <td>2,413</td> <td>2,189</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,591</td> <td>12,586</td> <td>11,318</td> <td>11,326</td> <td>10,122</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R2	R3	R4	R5	R6	市立図書館	8,374	10,028	8,872	8,913	7,933	学校間	3,217	2,558	2,446	2,413	2,189	合計	11,591	12,586	11,318	11,326	10,122
区分	R2	R3	R4	R5	R6																									
市立図書館	8,374	10,028	8,872	8,913	7,933																									
学校間	3,217	2,558	2,446	2,413	2,189																									
合計	11,591	12,586	11,318	11,326	10,122																									
目標	16.子どもの自立成長を促す学校教育																													
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み																												
市立図書館との連携を図った小中学校図書館活動の推進		学校図書館は、読書活動の推進のために利活用されることに加え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資する役割が期待されています。今後も市立図書館との連携を継続し、学校司書を全校配置するための人材確保と職務を十分に果たせるよう、資質能力の向上を図るための、研修等を継続します。 授業でのタブレット端末の活用が日常的になる等、環境の変化はありますが、小中学校の読書活動に求められる役割は変わりません。地域・家庭・学校との連携による、家庭読書の推進に取り組んでいきます。																												
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見																												
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な学校図書館図書整備の推進。 ・学校司書配置概算予算(職員課配分)40,774千円 ・平成16年に小学校、18年に中学校に配置した学校司書を中心とした、児童生徒が本に親しめる学校図書館の環境整備。 ・学校図書館配本システムの巡回運行を平成19年から開始し、図書の効果的活用。 ・全小中学校での朝読の推進とともに、地域・家庭・学校との連携による、家庭読書の推進と家読事業の周知活動の推進。 ・学校図書館全体計画の策定。 ※予算額を超える決算額は子どもの読書活動を支える寄附887,000円により倍額を再配当したことによるもの		・この事業は、「本と子どもたちのあいだ」にある図書館としての意義を果たしていると考え、評価します。さらに「知の拠点」としての存在を大いにアピールし、デジタル図書の導入も視野に入れつつ、心豊かな読書活動が行われるよう環境づくりの工夫をお願いしたいです。																												
予算額(千円)	決算額(千円)																													
5,238	6,959																													
自己評価	外部評価																													
B	B																													

12 継続		所管課 【 郷土資料館 】					
事業名(施策)		自己評価					
郷土資料館や遺跡等を活用した学習の推進		計画の達成状況					
第5期総合計画での区分		①史跡カリンバ遺跡：一部整備事業を実施するため、H27年度に策定した史跡カリンバ遺跡整備基本計画の改訂版を策定した。水文環境調査(データ採取)は継続して行った。史跡環境整備や各種啓発事業(展示、まつり、講演・講座等)は滞りなく実施した。 ②郷土資料館：○コレクション展「鈴蘭窯展」等7件 ○ふるさと教育宅配事業：市内8小学校への資料の貸出 ○令和6年度入館者数：7,282人					
基本目標	4.人が育ち文化育むまち						
目標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術						
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み					
地域の遺跡・施設等の教材化と活用		①史跡カリンバ遺跡：史跡基本計画改訂版の策定。市民啓発と予算の確保。 ②郷土資料館： ・収蔵資料の保存管理と有効活用 ・事業周知方法の検討 ・入館者数増加に繋がる取り組み					
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見					
①史跡カリンバ遺跡 (目標)H27年度に策定した整備基本計画の改訂版を策定し、一部整備事業を実施する。 (事業概要)現地整備に向けた国・道・市内部との調整。史跡の水文環境調査、環境整備と啓発事業の実施。 ②郷土資料館 (目標)郷土の歴史等に関する資料を収集・保管・展示公開し、多くの市民に郷土「恵庭」に対する関心を深めていただく。 (事業概要)○展示○ふるさと教育宅配事業○資料保存事業		・史跡カリンバ遺跡をはじめとする史跡保護のために、整備基本計画改訂版の策定や計画的な整備が実施されていることを高く評価します。来館が困難な学校や市民でもデジタル技術を駆使して学習や見学を可能にするなど、さらに工夫したプランの開発に期待します。					
予算額(千円)	決算額(千円)						
7,486	7,114						
自己評価	外部評価						
B	A						

13 継続		所管課 【 郷土資料館 】	
事業名(施策)		自己評価	
ふるさと教育支援者育成の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと散歩見学会を案内するボランティアガイド育成のため、既存の郷土資料館ボランティア有志を対象に学習会を実施。 ・学習成果を踏まえ、実践の場となる見学会を実施した。 	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		<ul style="list-style-type: none"> ・実践の場となる見学会を複数回実施し、経験値を高める。 ・無理のない段階的な事前学習を行う。 	
「ふるさと教育」を支援する人材の発掘と活用			
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
(目標) 地域に根差した郷土学習・体験学習の実施・指導の支援者を育成する。 (事業概要) ・郷土資料館に郷土学習のために訪れる団体見学の小学生への対応支援者の育成 ・ふるさと散歩見学会の実施とボランティアガイドの育成		<ul style="list-style-type: none"> ・希望者が減少する中でもボランティアガイドを育成し、学習会を開催継続していることを評価します。SNSを利用した周知をしたり、施策全体の検証を行ったりしながら今後の方策を探り、人材育成が進むことを期待します。 	
予算額(千円)	決算額(千円)		
0	0		
自己評価	外部評価		
B	B		

14 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について①		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>各学校共に施設、設備の老朽化が問題となる中、屋上防水改修や外壁改修、トイレの改修を重点に行っている。令和6年度は、恵み野中学校講堂の外壁改修を行い、恵明中学校校舎・講堂トイレの改修を行った。また、普通教室及び特別支援教室、職員室、校長室へのエアコン設置について、小学校より開始した。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		<p>今後も学校施設の劣化状況を事前に確認し、緊急性の高い屋上防水改修工事やトイレの改修工事などを計画的に、かつ早期に実現できるよう取り組んでいく。また各学校の長寿命化改修などの大規模改修時においても計画的に実施できるよう進めていく。また、小中学校の普通教室及び特別支援教室、職員室、校長室への冷房設備の設置も引き続き進めていく。</p>	
将来につながる主体的な学びや情報活用能力の向上をめざした教育の充実			
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
<p>良好な学習環境を維持するための施設の改修(屋上防水改修、トイレ改修等)、また学校施設全体の長寿命化を行う大規模な改修工事を計画的に実施する。 【令和6年度工事・設計】 小学校(和光、若草、恵み野、恵み野旭)冷房設備設置設計・工事、恵明中学校校舎・講堂トイレ改修工事、恵み野中学校講堂外壁改修工事、恵庭小学校エレベータ新設工事、若草小学校屋外物置新設工事、恵み野小学校非常放送設備更新工事、恵み野小学校・恵み野旭小学校学童物置改修工事、恵庭小学校冷房設備設置設計・工事、小学校遮光ブラインド設置工事</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で効果的な執行がされていること、また喫緊の課題である冷房設備の設置が着実に行われていることを高く評価します。良好な学習環境の整備は、児童生徒の学習意欲の喚起に繋がり、安全・安心な学校を望む保護者の信頼にも繋がることと考えます。 	
予算額(千円)	決算額(千円)		
887,077	545,103		
自己評価	外部評価		
B	A		

令和7年度(令和6年度事業)恵庭市教育委員会点検評価報告書

15 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について②		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和6年度は、恵庭小学校校舎の機能復旧工事の設計を行った。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		外部評価委員の意見	
将来につながる主体的な学びや情報活用能力の向上をめざした教育の充実			
事業(施策)概要・計画(目標)		・老朽化した小学校の機能復旧を計画的に進めていることを評価します。今後も更新時期を確実に把握し、安心・安全な公共施設の維持に努めていただきたいと思います。	
設置後20年程度経過し老朽化している暖房用ボイラー、重油タンク(ボイラー更新2回に1回)を計画的に更新し故障による学校運営への影響を未然に防ぐ。 【令和6年度工事・設計】 ・恵庭小学校校舎防音機能復旧設計			
予算額(千円)	決算額(千円)		
13,245	11,495		
自己評価	外部評価		
B	B		

16 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
地区会館等の整備について		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和6年度は、有明会館の機能復旧工事を行った。また、市民会館の耐震化等改修工事(1期工事)に着手した。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		外部評価委員の意見	
将来につながる主体的な学びや情報活用能力の向上をめざした教育の充実			
事業(施策)概要・計画(目標)		・老朽化による設備更新が計画的に実施されており、評価します。地区会館は社会教育、生涯教育においての重要な拠点であるとともに、防災機能を有しており、会館の整備は市民の関心が高い事業と考えます。着実な整備を願います。	
設置後20年程度経過し、老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新し、故障による社会教育活動への影響を未然に防ぐ。 また、時代のニーズに合わせ計画的に会館の改修や市民会館の耐震化等、施設の延命や機能の復旧を行う。 【令和6年度 工事・設計】 ・有明会館防音機能復旧工事 ・和光会館ホール天井改修工事 ・市民会館耐震化等改修工事			
予算額(千円)	決算額(千円)		
252,450	248,125		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和6年度 恵庭市教育委員会点検評価一覧

課	番号	新・継	事業名	自己評価	外部評価
教育総務課	1	継	学校部活動の地域移行	B	B
	2	継	教職員の働き方改革の推進	B	B
	3	継	学力・体力向上の推進	B	A
教育支援課	4	継	「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進	B	B
	5	新	不登校対策	B	A
学校給食センター	6	継	学校給食費の債権管理事業	B	B
社会教育課	7	継	郷土芸能の体験学習の推進	B	B
	8	継	理科の体験学習の推進	A	A
	9	新	地域学校協働活動の推進・支援	A	A
読書推進課	10	継	恵庭分館カードレスICT化事業	B	B
	11	継	市立図書館との連携を図った小中学校図書館活動の推進	B	B
郷土資料館	12	継	郷土資料館や遺跡等を活用した学習の推進	B	A
	13	継	ふるさと教育支援者育成の推進	B	B
教育施設課	14	継	学校教育施設の整備について①	B	A
	15	継	学校教育施設の整備について②	B	B
	16	継	地区会館等の整備について	B	B